

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

平成14年1月28日 第42報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	370		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(珪) <i>Melosira varians</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	310		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	4		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	20		
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	30		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	100		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	220		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	10		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	10		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	3		
(他) その他の植物プランクトン	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	380	33.1	15.7
(珪) 珪藻綱	414	36.1	34.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	320	27.9	33.1
(み) みどり虫藻綱	10	0.9	0.2
(緑) 緑藻綱	14	1.2	16.9
(他) その他のプランクトン	10	0.9	0.0
総細胞数	1148	総体積	6.26E+05
種類数	15	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	380

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Synchaeta oblonga</i>	180

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

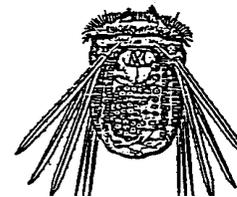
### 植物プランクトン第1優占種



***Uroglena americana***  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

### 動物プランクトン第1優占種



***Polyarthra vulgaris***  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

### コメント:

植物プランクトンは、引き続きウログレナ アメリカーナが最も多かったが、その細胞数は今回は少なかった。動物プランクトンは、ハネウデワムシが最も多かった。